



平成31年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年12月14日

上場会社名 オーエス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9637 URL <http://www.osgroup.co.jp>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 秀一郎
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 森口 武士 (TEL) 06-6361-3554
 四半期報告書提出予定日 平成30年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年1月期第3四半期の連結業績(平成30年2月1日~平成30年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年1月期第3四半期 | 5,459 | △14.6 | 548 | △0.4 | 517 | 14.4 | 351 | △13.5 |
| 30年1月期第3四半期 | 6,393 | 15.2 | 551 | △15.5 | 452 | △18.7 | 406 | △3.4 |

(注) 包括利益 31年1月期第3四半期 337百万円(△21.2%) 30年1月期第3四半期 427百万円(△13.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年1月期第3四半期 | 111.08 | — |
| 30年1月期第3四半期 | 128.42 | — |

当社は、平成29年8月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年1月期第3四半期 | 30,274 | 9,925 | 32.8 |
| 30年1月期 | 29,986 | 9,667 | 32.2 |

(参考) 自己資本 31年1月期第3四半期 9,924百万円 30年1月期 9,667百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年1月期 | — | 2.50 | — | 12.50 | — |
| 31年1月期 | — | 12.50 | — | — | — |
| 31年1月期(予想) | — | — | — | 12.50 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年8月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。平成30年1月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、株式併合後の基準で換算した平成30年1月期の1株当たり年間配当金は25円となります。

3. 平成31年1月期の連結業績予想(平成30年2月1日~平成31年1月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|-----|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,400 | △3.0 | 710 | 10.2 | 610 | 3.8 | 410 | △14.9 | 129.48 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年1月期3Q | 3,200,000株 | 30年1月期 | 3,200,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 31年1月期3Q | 34,036株 | 30年1月期 | 33,971株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 31年1月期3Q | 3,165,983株 | 30年1月期3Q | 3,166,594株 |

当社は、平成29年8月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成30年2月1日～平成30年10月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、通商問題をはじめとする海外経済の不確実性や金融資本市場の変動による影響も懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループは、中期経営計画の最終年度として、安定した経営・財務基盤を実現するべく取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の成績は、売上高は5,459,024千円と前年同期に比べ934,415千円（14.6%）の減収となり、営業利益は548,769千円と前年同期に比べ2,334千円の減益、経常利益は517,927千円と前年同期に比べ65,377千円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は351,668千円と、前年同期に比べ54,994千円の減益となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。

(映画事業)

映画事業におきましては、邦画作品では「映画ドラえもん のび太の宝島」「名探偵コナン ゼロの執行人」「劇場版コード・ブルー -ドクターヘリ緊急救命-」、洋画作品では「グレイテスト・ショーマン」「インクレディブル・ファミリー」「ジュラシック・ワールド/炎の王国」などの話題作を上映いたしました。

また、本年2月、「OSシネマズ神戸ハーバーランド」のロビースペースを改装し、「スクリーン10」をオープンした結果、より多彩な番組編成が可能となりました。さらには、直営映画館において、人気作品の出演者が登壇する舞台挨拶を実施し話題づくりに努めるとともに、演劇公演やコンサートなど多種多様なコンテンツのライブ中継や活弁士とピアニストによる活弁上演会の定期公演を実施するなど、新たな顧客の開拓に取り組んでまいりました。

売上高は2,242,311千円と前年同期に比べ96,930千円（4.1%）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は158,362千円と前年同期に比べ49,463千円の減益となりました。

(不動産賃貸・販売事業)

不動産賃貸業界におけるオフィスビル市況は、海外経済の不確実性や相次いだ自然災害の影響を受けながらも、雇用・所得環境の改善や好調な企業収益を背景に、堅調に推移いたしました。東京都心5区では、新築ビルがおおむね高稼働で竣工したこともあり空室率は低下し、賃料水準につきましても上昇基調が継続しております。一方、大阪ビジネス地区におきましては、梅田地区を中心とした高いオフィスビル需要を背景に空室率は低水準で推移し、賃料水準は緩やかな上昇を続けております。

このような状況のなか、不動産賃貸事業におきましては、「OSビル」低層階用空調熱源機器更新工事等を実施し、快適な環境づくりを行うとともに、資産価値の向上に努めてまいりました。

また、「OSビル」1階都島通り沿いにおいて改修工事を行い、街の賑わいと憩いの空間を提供する「OS広場」をオープンし、企業プロモーションイベントなどの誘致による新たな収益構造の確立にも取り組んでまいりました。当第3四半期連結累計期間末における直接保有ビルの稼働率は100%と満室稼働となりました。

なお、本年9月、東京都中央区日本橋浜町に事業用賃貸マンション「メルヴェーユ日本橋浜町」を取得し、収益に寄与しております。

不動産販売業界における分譲マンション市況は、依然として用地代や建築費の高騰により販売価格は高止まりの状況にあるものの、住宅ローン減税や低金利等により住宅取得にとって好環境が継続しております。

このような状況のなか、不動産販売事業におきましては、本年9月に竣工した分譲マンション「プレージア逆瀬川宝梅 ザ・レジデンス」（宝塚市）の売上を計上しており、早期完売に向け販売活動に注力しております。また、分譲マンション「プレージア西田辺」（大阪市阿倍野区）につきましても、来年1月の竣工に向け、鋭意取り組んでまいりました。

分譲マンションの販売戸数が前年同期を下回ったことなどにより、売上高は2,546,484千円と前年同期に比べ810,848千円（24.2%）の減収となりましたが、前年同期に計上した棚卸資産評価損による影響もあり、セグメント利益（営業利益）は858,838千円と前年同期に比べ71,775千円の増益となりました。

なお、本年9月、東京都文京区白山二丁目に販売用不動産として収益マンションを取得しております。

(飲食事業)

飲食業界は、個人消費に持ち直しの動きが見られるものの、食材価格の高騰や人件費の上昇など、依然として厳しい経営環境が継続しております。

このような状況のなか、飲食事業におきましては、営業基盤の強化を図るため、本年3月、神戸市中央区に「串かつおおえす 三宮2号店」を、本年9月、神戸市兵庫区に「餃子ノ酒場おおえす メトロこうべ店」をオープンいたしました。また、既存店舗におきましては、運営の効率化を推進し経費削減に取り組んでまいりました。

売上高は270,421千円と前年同期に比べ5,655千円(2.1%)の増収となりましたが、新規出店費用の増加もあり、セグメント利益(営業利益)は7,247千円と前年同期に比べ13,658千円の減益となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、アミューズメント施設「namco三宮店」の売上を計上しております。

売上高は399,806千円と前年同期に比べ32,291千円(7.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は69,734千円と前年同期に比べ10,011千円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は287,305千円の増加となりました。これは主に現金及び預金1,383,696千円の減少がありましたが、有形固定資産790,574千円、販売用不動産733,743千円の増加によるものであります。

負債につきましては29,608千円の増加となりました。これは主に短期借入金555,080千円、未払法人税等289,655千円の減少がありましたが、長期借入金913,520千円の増加によるものであります。

純資産につきましては257,696千円の増加となりました。これは主に利益剰余金272,519千円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年1月期の連結業績予想につきましては、平成30年3月16日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年1月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年10月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,968,335 | 1,584,638 |
| 売掛金 | 232,028 | 214,664 |
| 販売用不動産 | 1,845,365 | 2,579,109 |
| 商品 | 9,842 | 9,195 |
| 貯蔵品 | 3,560 | 2,441 |
| 前払費用 | 81,589 | 104,057 |
| 繰延税金資産 | 35,395 | 35,240 |
| その他 | 67,476 | 262,542 |
| 貸倒引当金 | △7,383 | △7,383 |
| 流動資産合計 | 5,236,210 | 4,784,506 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 18,272,355 | 19,035,087 |
| 減価償却累計額 | △10,130,480 | △10,475,973 |
| 建物及び構築物(純額) | 8,141,875 | 8,559,114 |
| 機械装置及び運搬具 | 270,371 | 280,777 |
| 減価償却累計額 | △142,024 | △160,109 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 128,347 | 120,668 |
| 工具、器具及び備品 | 685,314 | 725,787 |
| 減価償却累計額 | △555,936 | △595,171 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 129,378 | 130,616 |
| 土地 | 12,385,115 | 12,895,462 |
| 信託建物 | 584,098 | 589,273 |
| 減価償却累計額 | △102,761 | △130,615 |
| 信託建物(純額) | 481,336 | 458,657 |
| 信託土地 | 1,812,608 | 1,812,608 |
| 建設仮勘定 | 107,892 | - |
| 有形固定資産合計 | 23,186,552 | 23,977,127 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 57,481 | 49,702 |
| その他 | 310 | 776 |
| 無形固定資産合計 | 57,792 | 50,478 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 400,514 | 379,343 |
| 長期前払費用 | 107,089 | 117,825 |
| 差入保証金 | 629,109 | 633,052 |
| 建設協力金 | 336,937 | 305,538 |
| 繰延税金資産 | 16,285 | 12,662 |
| その他 | 8,420 | 8,420 |
| 投資その他の資産合計 | 1,498,357 | 1,456,842 |
| 固定資産合計 | 24,742,702 | 25,484,448 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 7,904 | 5,166 |
| 繰延資産合計 | 7,904 | 5,166 |
| 資産合計 | 29,986,816 | 30,274,121 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年1月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年10月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 208,653 | 221,224 |
| 短期借入金 | 3,550,910 | 2,995,830 |
| 未払金 | 67,782 | 39,055 |
| 未払費用 | 244,990 | 247,878 |
| 未払法人税等 | 319,022 | 29,367 |
| 未払消費税等 | 163,357 | 12,218 |
| 賞与引当金 | 29,752 | 68,949 |
| その他 | 227,412 | 317,756 |
| 流動負債合計 | 4,811,883 | 3,932,281 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 長期借入金 | 9,562,380 | 10,475,900 |
| 長期預り保証金 | 1,954,467 | 1,961,683 |
| 繰延税金負債 | 929,017 | 906,746 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,674,048 | 1,674,048 |
| 退職給付に係る負債 | 387,053 | 397,798 |
| 固定負債合計 | 15,506,966 | 16,416,176 |
| 負債合計 | 20,318,849 | 20,348,458 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 800,000 | 800,000 |
| 資本剰余金 | 66,507 | 66,507 |
| 利益剰余金 | 5,979,316 | 6,251,835 |
| 自己株式 | △106,010 | △106,236 |
| 株主資本合計 | 6,739,813 | 7,012,106 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 136,390 | 121,793 |
| 土地再評価差額金 | 2,791,763 | 2,791,763 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,928,153 | 2,913,557 |
| 純資産合計 | 9,667,966 | 9,925,663 |
| 負債純資産合計 | 29,986,816 | 30,274,121 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年10月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 6,393,440 | 5,459,024 |
| 売上原価 | 5,231,597 | 4,293,423 |
| 売上総利益 | 1,161,842 | 1,165,601 |
| 一般管理費 | 610,738 | 616,832 |
| 営業利益 | 551,103 | 548,769 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7,238 | 6,400 |
| 受取配当金 | 3,877 | 2,514 |
| 受取保険金 | 141 | 38,918 |
| その他 | 2,721 | 3,003 |
| 営業外収益合計 | 13,977 | 50,836 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 96,621 | 74,132 |
| その他 | 15,909 | 7,546 |
| 営業外費用合計 | 112,530 | 81,678 |
| 経常利益 | 452,550 | 517,927 |
| 特別利益 | | |
| 補助金収入 | - | 10,000 |
| 固定資産売却益 | 139,015 | - |
| 特別利益合計 | 139,015 | 10,000 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産圧縮損 | - | 10,000 |
| 固定資産除却損 | 94 | 3,832 |
| 特別損失合計 | 94 | 13,832 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 591,471 | 514,095 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 395,162 | 174,483 |
| 法人税等調整額 | △210,354 | △12,056 |
| 法人税等合計 | 184,808 | 162,426 |
| 四半期純利益 | 406,663 | 351,668 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 406,663 | 351,668 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年10月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 406,663 | 351,668 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21,316 | △14,596 |
| その他の包括利益合計 | 21,316 | △14,596 |
| 四半期包括利益 | 427,979 | 337,072 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 427,979 | 337,072 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年2月1日至平成29年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 映画事業 | 不動産賃貸・販売事業 | 飲食事業 | その他事業 | 計 | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額(注2) |
|-------------------------------|-----------|------------|---------|---------|-----------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への 売上高 | 2,339,242 | 3,357,333 | 264,766 | 432,097 | 6,393,440 | — | 6,393,440 |
| (2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | 34,127 | — | — | 34,127 | △34,127 | — |
| 計 | 2,339,242 | 3,391,460 | 264,766 | 432,097 | 6,427,567 | △34,127 | 6,393,440 |
| セグメント利益 | 207,825 | 787,063 | 20,906 | 79,745 | 1,095,542 | △544,438 | 551,103 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△544,438千円には、セグメント間取引消去△2,818千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△541,620千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年2月1日至平成30年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 映画事業 | 不動産賃貸・販売事業 | 飲食事業 | その他事業 | 計 | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額(注2) |
|-------------------------------|-----------|------------|---------|---------|-----------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への 売上高 | 2,242,311 | 2,546,484 | 270,421 | 399,806 | 5,459,024 | — | 5,459,024 |
| (2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | 72,439 | — | — | 72,439 | △72,439 | — |
| 計 | 2,242,311 | 2,618,924 | 270,421 | 399,806 | 5,531,463 | △72,439 | 5,459,024 |
| セグメント利益 | 158,362 | 858,838 | 7,247 | 69,734 | 1,094,183 | △545,414 | 548,769 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△545,414千円には、セグメント間取引消去△3,218千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△542,195千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。